

# 平成24年～平成28年の7～9月 山岳遭難事故発生場所

<夏季ハケ岳7件の死亡事故のうち、主な死亡原因は発病(3件)と滑落(2件)です！>

○「適正な登山計画づくり」、「体調がすぐれないときに無理をしない」等の取組で事故を防ぎましょう。

<落雷・ゲリラ豪雨等による気象遭難に注意>

○夏山の天候は比較的安定していますが、積乱雲が発生しやすく、広い範囲で落雷やゲリラ豪雨が発生します。硫黄岳頂上付近、阿弥陀岳～御小屋尾根下山ルートは荒天時、濃霧時に迷いやすく注意すべきルートとされています。

<転落、スリップ、落石に注意>

○横岳、赤岳、阿弥陀岳稜線、地藏尾根の各岩場、県界尾根の大天狗～赤岳及び赤岳天望荘への回り道、大同心・小同心、文三郎新道はしご場上部～赤岳頂上直下は転落に注意しましょう。赤岳を中心とする南ハケ岳一帯は岩質がもろいため、落石・浮石にも注意してください。



株式会社サンニチ印刷提供